

令和6年度 島根県技術士会新年例会フォトレポート

島根県技術士会 広報部

島根県技術士会では、年1回、本会に所属する技術士が日頃の研究成果を発表する新年例会を開催しています。

本年度は令和7年2月1日（土）、松江エクセルホテル東急におきまして、154名（会場参加124名、Web参加30名）の会員が出席し、7つの分科会より研究報告がなされました。



石田会長挨拶

1. 水資源・水環境研究分科会

○ 鳥取県内3ダム視察報告

田中秀典

鳥取県の3つのダム（殿ダム・百谷ダム・東郷ダム）を視察し、それぞれのダムの技術的な特徴など視察で得られた知見について報告がありました。



2. 庭園文化研究分科会

○ 勝部家庭園について

宇野真一

勝部邸（出雲市斐川町坂田）に残る江戸時代の絵図面や現在の庭園の実見を通し、松江藩主であった松平不昧公のエピソードも多く残す往時の勝部家庭園を紹介し、出雲流庭園に与えた影響の大きさについて報告されました。



3. 鉄道遺構研究分科会

○ 遺構から地域の遺産（お宝へ）～鉄道遺構研究分科会15年目の活動～

和田 浩

本分科会でも調査研究していた旧三江線の「目の字型ラーメン橋（志谷川橋梁・日向川橋梁）」が土木学会よりR6.9.20に推奨土木遺産として認定。15年目となる本分科会の活動（旧三江線：瀬尻川橋梁、今福線：美田川橋梁の現地調査）について発表されました。



4. 生物多様性研究分科会

- 令和6年度活動報告～大谷ビオトープ調査ほか

大嶋辰也

地元主体で整備したコウノトリの餌場環境創出を目的としたビオトープにおいて、今後の効果的な整備と維持管理の省力化に向けDX研究分科会と協力し、UAV3次元測量や餌生物量調査の実施状況について報告されました。



5. 島根県B級遺産研究分科会

- ここにも有った！「木コンクリート橋」

松浦寛司

予定していた本年度の活動が中止となり、過年度に研究調査した木コンクリート橋は、県内のほかに山形でもその存在が確認されており、今回は山形において同橋の現地調査状況が発表されました。



6. エネルギー多様性研究分科会

- 木質バイオマス発電について

井上数夫

地球温暖化防止対策のひとつとして挙げられる木質バイオマス発電において、出力規模の異なる発電所を比較し、その事業性についての考察が報告されました。



7. D X研究分科会

- D X研究分科会 令和6年度活動報告

三好恵美

国土交通省がR6.4に策定した「i-Construction2.0」の内容把握や、昨年に引き続き他の研究分科会と連携して各種3次元データの活用についての活動内容について報告されました。



- ◎ 今回の研究報告の内容は、毎年発行している「研究報告」にまとめられ、島根県技術士会のホームページ（研究分科会）より御覧になれます。